

NEWS LETTER



～ 7月5日(土)ユースボランティア茅ヶ崎 2025 オリエンテーションの様子～

CONTENTS

- ・【特集】市民活動アンケート結果
- ・ユースボランティア茅ヶ崎 2025 オリエンテーション報告
- ・「さぼちゃんが行く！」
特定非営利活動法人
ちがさき学童保育の会
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



毎年恒例のみどりのカーテン。今年は環境政策課により配布された苗を西日が当たる窓を覆うように植え付け、朝晩の水やり成果もあってスクスク育っています。遮熱&省エネ効果も実感！収穫したゴーヤは利用者みなさんとシェアして美味しくいただき（お気持ち募金分は「げんき基金」に寄付予定）、実の一部は完熟させて『ゴーヤの種里帰りプロジェクト』にも協力。市内でみどりのカーテンの輪が繋がっていきますように！

今後の予定

8月

- ▷8/6(水)・21(木) 14:00～16:00
シェア de ボランティア
(ユースボランティア参加者対象)
- ▷8/24(日) 13:30～16:30
IT スキルアップミニ講座「ChatGPT」
講師:志村 雅彦さん(NPO 法人セカンドワーク協会)
※定員になり次第募集締切

9月

- ▷9/13(土) 10:00～12:00
NPO 講座「広報の基本」
講師:市川 歩さん(株式会社バンド)
- ▷9/20(土)&27(土) 13:30～16:30
IT スキルアップミニ講座「Canva」
講師:村田久美子さん(NPO 法人パソボラ湘南)

10月

- ▷10/25(土) 10:00～11:30
「こどたん + 2026」キックオフ交流会
- ▷10/19(日) 14:00～16:00
SDGs カフェ 13 ゲスト:松山亮翔さん
(学生団体ニューコロブス)

開催日決定！

「こどたん + 2026」

開催日 ▷▷ 2026 年 3 月 14 日 (土)

さまざまな体験を通じ、市民活動を知るおまつり!!

場所:「ちがさきサポセン」

詳細は決まり次第 HP、ニューズレター等でお知らせします♪

【特集】「2025 年度 市民活動に関する状況調査(アンケート)」 集計結果

データベース登録団体を対象に、登録更新手続きと併せて現在の活動状況や必要とする支援についてアンケート調査を行いました。今後の施設運営や市民活動の支援・推進事業に役立ててまいります。

みなさま、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

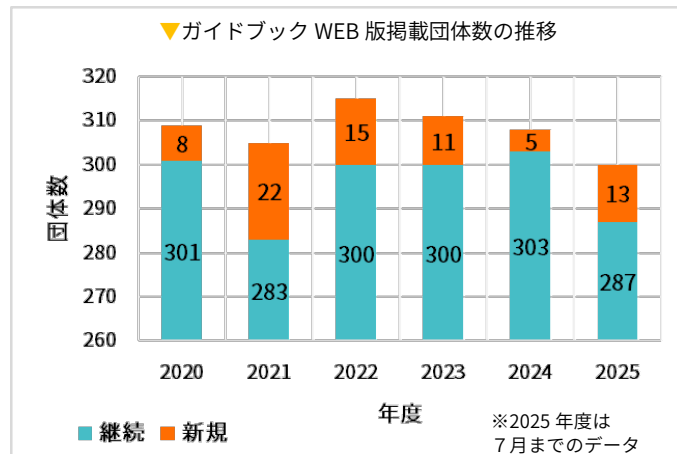
調査期間：5/26～6/30 対象：319 団体、回答数：250 団体（法人等 58、任意団体 192） 回答率：78%

データベース登録団体の概要

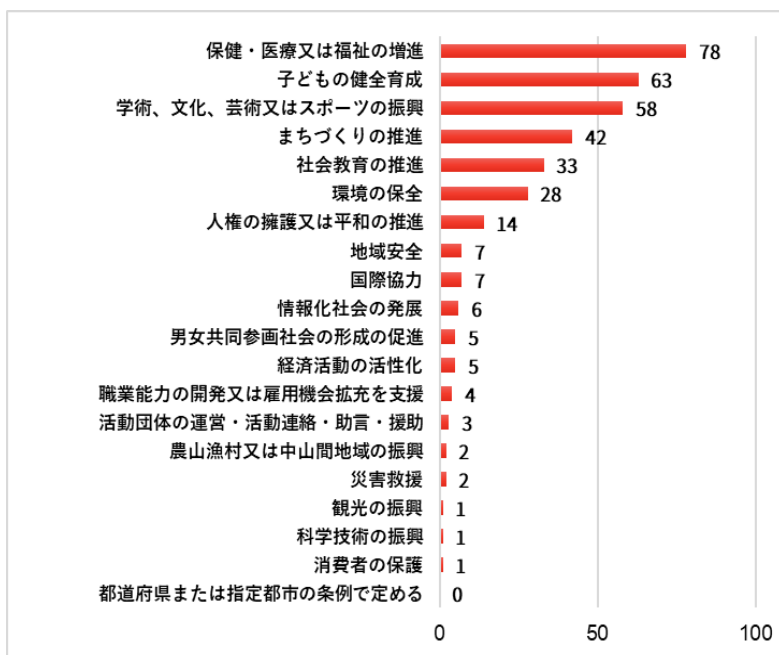
7/22 現在、データベース登録団体のうち WEB 版にて情報公開しているのは **300 団体**。

高齢化による会員数の減少、後継者がいないなど、様々な理由で残念ながら活動継続が難しくなり登録を取消された団体もありますが、現役世代の団体を中心に新規登録もあり、全体としては 300 前後で推移しています。

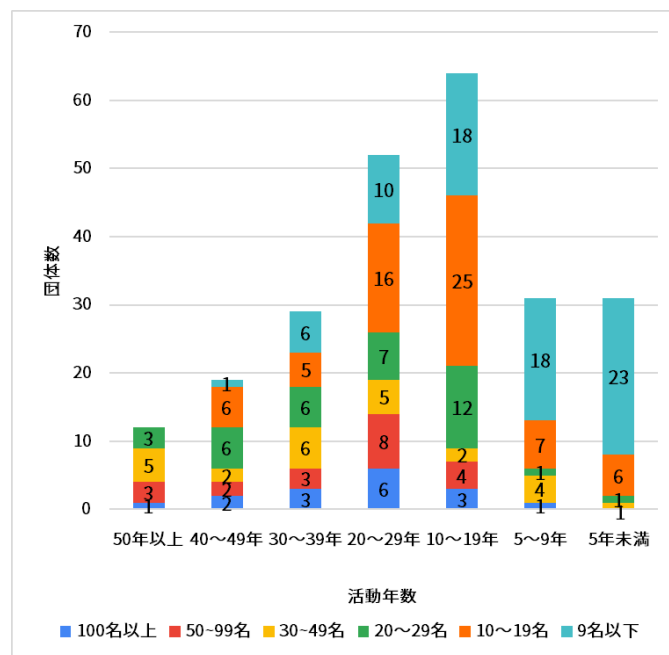
この 1 年、新規 DB 登録した 13 団体のうち 9 割が少人数(10 名以下)で活動かつ活動歴は 5 年未満。30～40 歳代の現役世代の活動が活発で、共通の価値観や課題意識を持った仲間同士が集まり、活動を展開しているように見受けられます。



Q1. アンケートの回答団体について



▲ 活動分野（サブの分野も含む）ごとの団体数



▲ 団体の内訳：活動年数ごと、活動人数別団体数

昨年と同じく「保険・医療又は福祉の増進」分野が一番多く、「子どもの健全育成」分野で活動している団体が昨年より大幅に増えています。

茅ヶ崎市は子育て世代の転入が増えており、未来を担う子どもたちを取り巻く課題が多様化、複雑化し、社会全体で支える必要性が高まっていると考えます。

Q2. 回答者について

代表または会長 73%、事務局 13%、連絡担当 6%、副代表または副会長 4%、その他 2%でした。

【その他】スタッフの意見を集約、元代表、元事務局など

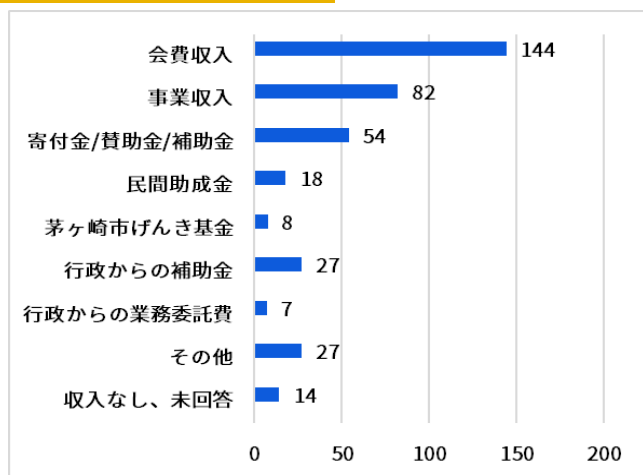


Q3. 活動の頻度

月 1 回/週 1 回など定期的に活動 43%、必要に応じて不定期 22%、週 5 日以上 16%、その他 16%、活動休止中 3%でした。

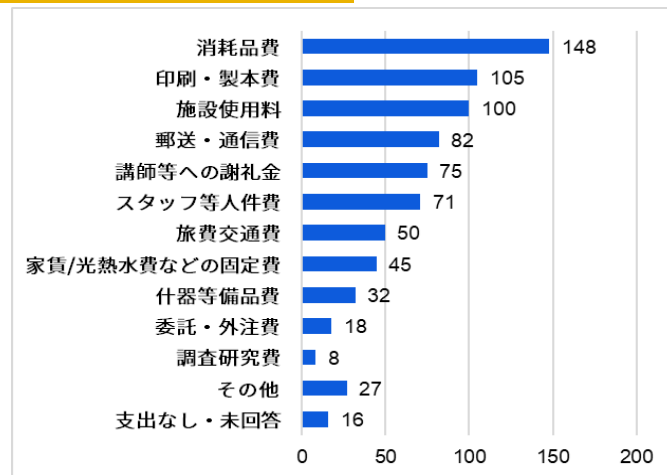
【その他】週 2 回、月 2 回、365 日毎日（福祉事業者、動物保護団体）、季節ごと・活動内容によって異なる、行事・イベント・活動依頼にあわせて、など

Q4. 主な収入源（複数選択）



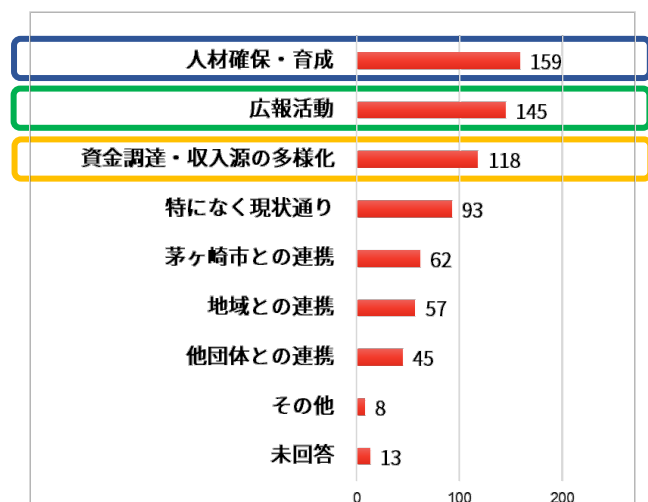
【その他】団体本部から、自治会、市社協の補助金、民間補助金、イベントや行事の参加費、会員の個人負担

Q5. 主な支出費目（複数選択）



【その他】保険料、寄付金、慶弔費、会費、イベント参加費、WEB・施設維持費、通信費、広告宣伝費

Q6. 今後の活動、団体運営について特に力を入れていきたいことは（複数選択）

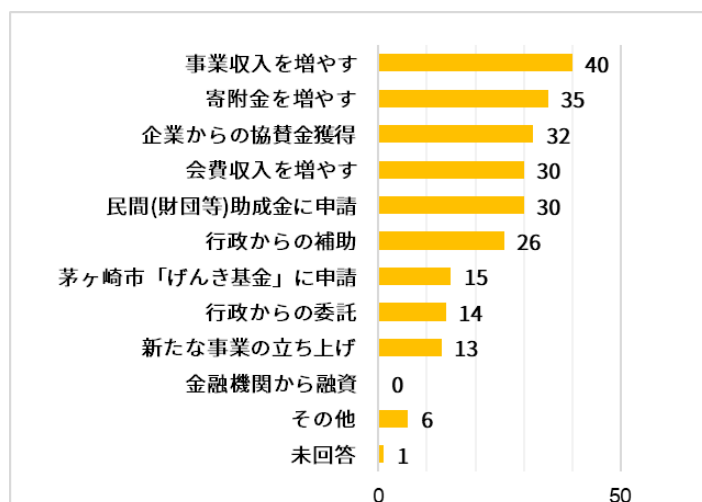


昨年のアンケートでは困りごとの一位が「人材」、次に「情報発信力」。力を入れたいこと＝困りごとと考ええると同じ傾向が見えてきます。

【その他】新しい活動先の開拓、高齢化に伴い活動の継続が難しい、個人情報に関わる活動だけに思慮すべきことが多い、活動再開に向けての準備中など

Q7. Q6で「資金調達、収入源の多様化」を選択

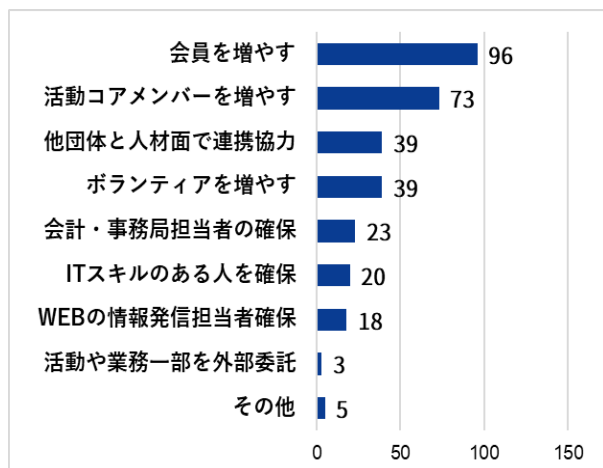
（複数選択）



【その他】現状の活動の適正化を図る、会員数（会費収入）の維持、主力である工作教室の開催を各所に働き掛けるなど

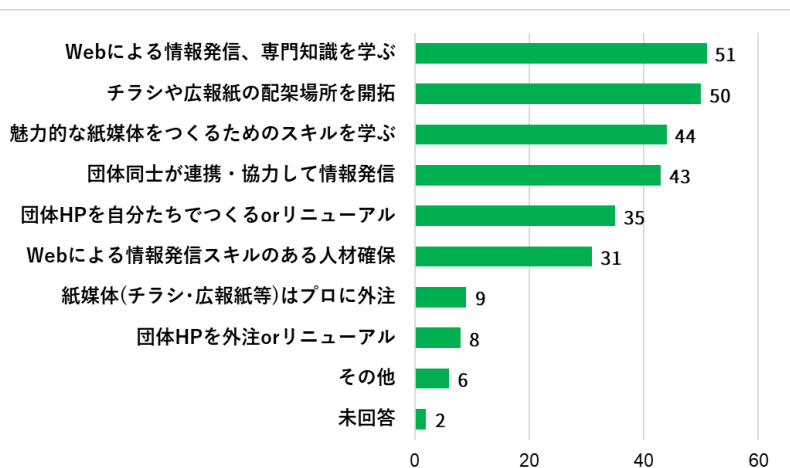


Q8. Q6で「人材確保・育成」を選択（複数選択）



【その他】資格取得の支援、会員の潜在能力を活かす、求人方法の見直し、ユース・インターシップボランティアを育成し賛同のある若者の確保など

Q9. Q6で「広報活動」を選択（複数選択）



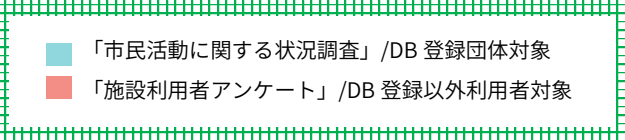
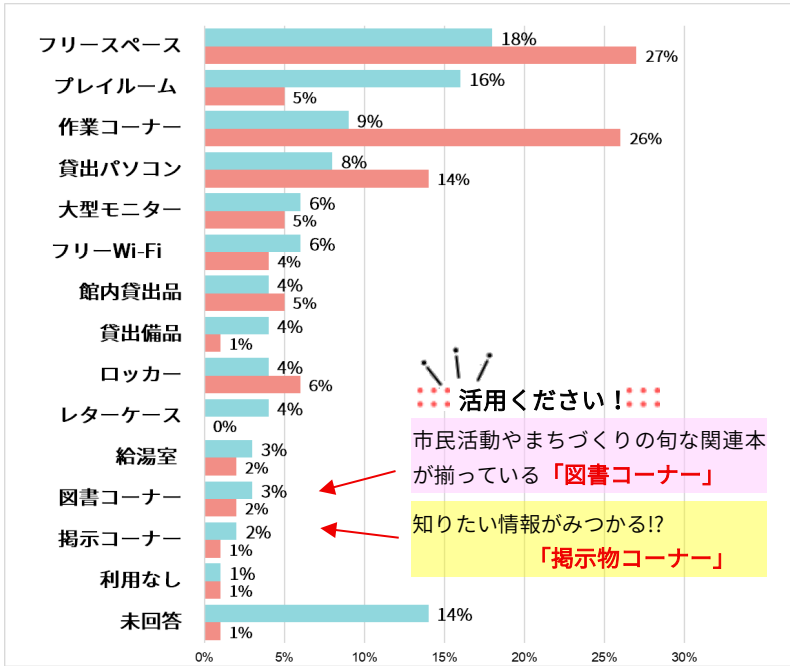
Webによる情報発信などのスキルを学びたいという前向きな回答が多かったですが、紙媒体ならではの効果的な広報も大切にされています。

- 3 - 【その他】行政発行の広報誌への掲載、SNSでの発信の見直しなど

Q10. 施設・設備で特に利活用しているもの（複数選択）

※6/1～6/30「施設利用者アンケート」を実施 ▶▶▶ 回答数：86 団体・個人（DB 登録 25、登録以外 61）

Q10、Q11：DB 登録団体対象に実施した「市民活動に関する状況調査」と同質問を実施。DB 登録していない団体や個人の回答と比較



サポセンは、団体登録の有無に関わらず、市民活動をする方がどなたでもご利用になれる施設です。利用の多くが、「フリースペース」「作業コーナー」。フリースペースは予約なしで気軽にご利用できます。作業コーナーには印刷機や紙折機など印刷作業に便利な機器類が揃っているため効率よく作業ができます。早くて安い印刷機もあり利用者の方に好評です！

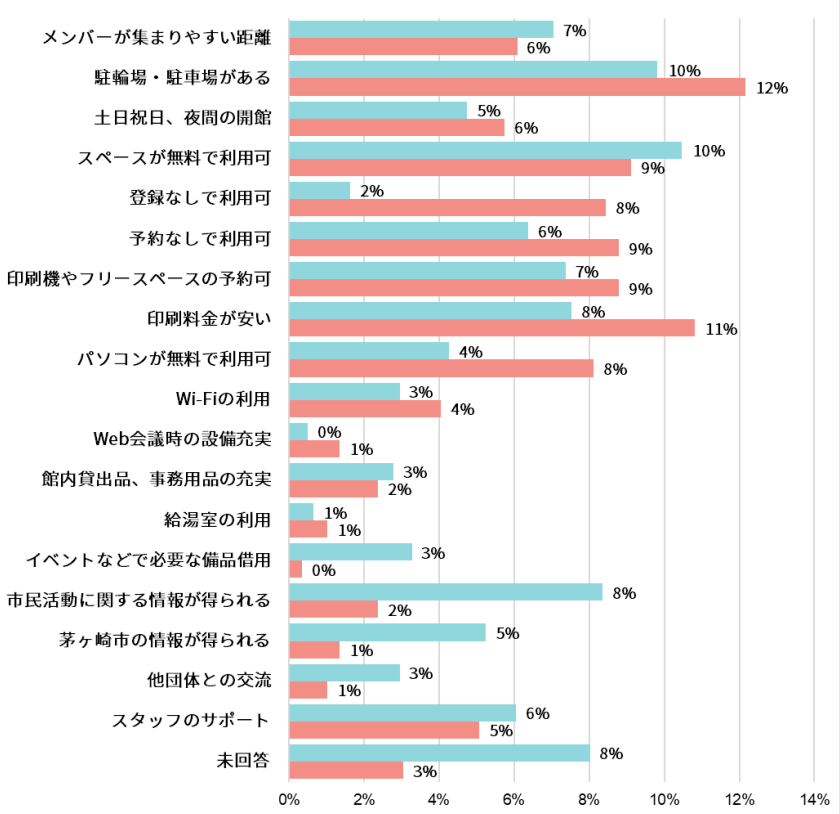
データを USB などを持参すれば文書作成や修正、印刷と一連の作業ができるので、「貸出パソコン」の利用も多くなっています。大型モニターや貸出備品を利用いただく方からは、「便利ですね」「助かります」などの声も多く、利用者の方に有効に使われています。

Q11. 施設・設備を利用する理由（複数選択）

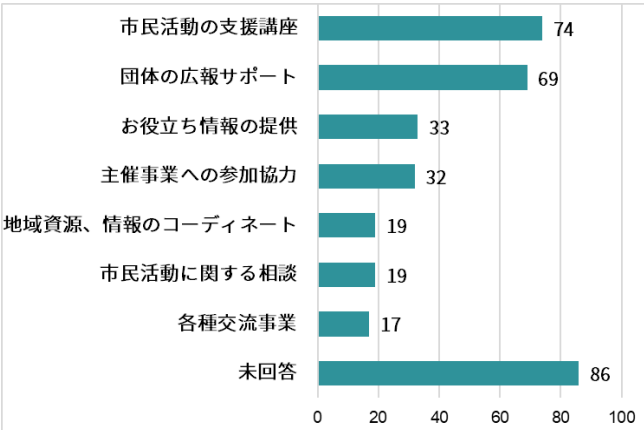
サポセンは、予約なしでも使える施設！
駐車場も 14 台、ハンディキャップ用駐車場 1 台完備しています。館内のスペースが混みあっているときは、利用者さん同士が譲り合い、利用していただいています。

比較的空いている夜間のご利用もおススメ。最近、学生さんが勉強の場として利用されることが増えてきました。

「スタッフのサポートがありがたい」のお声もたくさんありました。特に印刷機の使用法は「年に 1 回しか使わないから覚えられない」という声をよく聞きます。そんな時は、スタッフのちょっとしたサポートに加え、利用者さん各々が主導で印刷作業を行っていただいています。引き続き、みなさんが気持ちよく使える施設運営に努めていきます。



Q12. サポセン機能・事業の中で活用・参加しているもの（複数選択）



例年、上位の「市民活動の支援講座」「広報サポート」。今回のアンケートでも今後の活動、団体運営に特に力を入れて行きたいことに「人材育成」「広報活動」との回答がありました。今年度の IT スキルアップ講座では 8 月に「ChatGPT」、9 月には「Canva」を開催。NPO 講座では、9 月に「市民活動に役立つ広報の基本」、10 月以降には組織力アップの講座を予定しています。ぜひご活用ください！！

★主催事業→ユースボランティア、ボランティア塾、ミライトーク、こどたん+など
★交流事業→SDGs カフェ、居場所づくり交流会など

Q13～Q16 は自由記述。「試験みたいで難しかった～」との声もきこえてきましたが、皆さん真剣に考えて回答してくださいました。ありがとうございます！「施設利用者アンケート」回答も含め、一部をご紹介します。

(ChatGPT による分析結果をもとに作成)

Q13. 「ボランティア」から連想するイメージ

● 「ボランティア＝無償奉仕」の伝統的イメージが強い

① 「無償」

・最も多く挙げたキーワード。「奉仕」「無料」「無報などとセットで頻出。特に、「行政の届かない部分を市民が無償で支える」という意識が強調されている。

② 「自発性・自主性」

・強制されない、自分の意思で選ぶ行為、それがボランティアの本質であると認識されている。

③ 「助け合い・思いやり」

・相互支援、信頼、優しさ、共感が大きな価値となる。

④ 「地域・社会貢献」

・地域や社会への役立ちを意識する回答が多数。

⑤ 「楽しさ・達成感」

・活動を通じて自己成長や生きがいを得るという肯定的な面も大きなモチベーションになっている。

⑥ 「有償・経費補填の必要性」「責任意識・持続性の課題」

・無償が前提の固定観念がある一方で、問題提起もあり。

▷ ボランティア＝無償の時代でしたので有償ボランティアへの対応に戸惑います・活動の趣旨に賛同し、手弁当(無償)で協力すること・パート時給の半額以下で行うことも含まれる・自分の生活の中で地域や他者に何らかの貢献をする・自分のスキルを活用・本人の「やりたい」がベースにあること・支援する/されるの関係がまだまだ固定化された印象・困っている人を助けるというより行動することで一緒に充実した時間を過ごしたい・お互いみんなで協力しあえる信頼しあえることがすてきな活動

Q14. 「市民活動」から連想するイメージ

● 地域に根ざした市民の自発的で協働的な社会貢献活動

① 「地域性・地縁性」

・自治会・町内会、地域活動、地域に根ざす地元、身近な活動など。自分の住む場所をよくしたいという意識が強い。

② 「自主性・自発性」

・無償、ボランティア、自由意志、草の根、非営利など。
・「行政にはできないことを市民が」「行政と連携」というワード、行政だけに任せないという主体性が目立った。
・自分たちの意思で問題を発見し解決する、という姿勢。

③ 「つながり・協働」

・交流、ふれあい、仲間づくり、協力、連携。
・同じ目的を持った人たちが集まる場。
・「人とのつながりの場」としてのイメージが非常に強い。

④ 「社会貢献・課題解決」

・社会改革、まちづくり、社会運動、福祉、環境、教育といったワードが多く、「市政の手の届かない部分を担う」「より良い社会、安全で安心できる地域を自分たちでつくる」という意識が強い。

▷ 幅広くたくさんの方の活動がある・皆が平等な立場で参加できる・個人が社会と繋がる場・身近な地域で小さな単位での活動・多くの市民との連帯で社会の健全な活性化を目指す・強い思いを持った人同士、同じ目標のために活動する・「こうありたい」との願いを実現するために仲間を募って行動する・「自立した市民の活動」でありたい・特定の人たちだけが頑張っている・興味があっても一歩踏み出せない面がまだまだある・名前が堅苦しく感じる・市民活動が活発なちがさはよい地域だと思う

Q15. 「NPO」から連想するイメージ

● 「非営利性」と「社会貢献性」という本質は浸透

① 「非営利性」

・「非営利」「営利を目的としない」「利益追求ではない」「非営利で地域や社会に貢献している」との回答が多数。

② 「社会貢献・公益性への期待」

・非営利性と並んで「社会貢献」「地域貢献」「課題解決」という言葉が非常に多く登場。子ども食堂、福祉活動、国際協力など、具体的な活動例が挙げられた回答も複数あり。

③ 「ボランティアとの関連や混同」

・「ボランティアの法人」「ボランティア組織」「善意の活動」などの表現が目立つ一方で、「無償のボランティアとは異なる」など違いを意識する声もあり。

④ 「市民活動の延長・法人化の認識」

・「市民活動が法人化したもの」「仲間が組織化する」「自主的な市民組織」という回答が複数あり、市民主体の活動を組織化して継続させる仕組みとしての NPO 像が共有。

(「NPO」は法人格を持たずに任意団体としても活動できます)

⑤ 「制度や運営面のハードル感」

・設立や申請に関する手続きの煩雑さ、書類の負担など、実務的な課題が多く挙げられた。実態を知る人の現場感も。

⑥ 「信頼性・公益性への期待と不安の両立」

・「信頼」「社会的信用」「公的に認められる」といった肯定的な連想がある一方、「得体が知れない」「信用できない」「中身が見えにくい」という不透明感を訴える声もあり。

⑦ 「運営の現場課題・新しい展望」

・実際に NPO 運営を担う立場からの具体的な指摘として、市民活動とビジネスの接続、報酬を得られるようにする、持続可能な仕組みづくりの必要性が示唆。

▷ 「市民活動」から出発、仲間が組織となって役割を明確化し、長期間活動する・「市民活動」を継続的に行うために必要な考え方、枠組み・専門性、継続性・市民活動よりもっとプロフェッショナル・NPO はスキルが必要・任意団体とは違う、厳しさ、難しさがあると感じる・遠い存在・無償で働いてくれると誤解している人がいるのは残念・団体に対する専門知識を活かした伴走支援など、具体的に活用できるような支援が求められていると思う。都内にはない、ローカル(余白のある)の良さが掛け合わされると、面白い化学反応が見られるのでは

Q16. その他のご意見

・アンケートにより自分たちの活動を振り返るきっかけとなった・任意団体の自由で柔軟に活動できる利点を感じている・無理をせず地道な活動を続けていくことが継続につながっている・これからも市民の視点を大切に活動をしていきたい・スタッフの方々の丁寧な対応に、いつも感謝(こちらこそ、いつもご利用ありがとうございます!)

もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2025 年 7 月 開催報告

開催経過報告

「ユースボランティア茅ヶ崎 2025」

◆オリエンテーション開催日：2025 年 7 月 5 日(土)～7 月 7 日(月)

◆参加者：125 名

◆ボランティア体験期間：2025 年 7 月 19 日(土)～9 月 7 日(日)



この夏、自分を変える第一歩！いつもと違う新しい世界へ

今年で 21 回目を迎える夏休みのボランティア体験は社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催。対象は中学生から大学生(25 歳位)まで。体験先は福祉、保育、子ども、環境保全、地域安全、国際、社会教育、まちづくりなど多岐にわたる分野から 22 団体・施設(体験先は約 50 カ所)。6 月 19 日受付開始以降、例年と同様に申込者数が増え、締切前に定員に達しました。

心の成長にもつながる 3 ステップ プログラム

Step1：オリエンテーション（知る・みつける）

Step2：体験期間（参加する）

Step3：シェア de ボランティア（ふりかえり）

Step ① オリエンテーション

7 月 5 日～7 日に参加者全員へボランティア体験の心構えや注意事項を説明するオリエンテーションを開催。

告知 Step ③ シェア de ボランティア

ユースボランティア参加者による体験の“ふりかえり”を共有する場。今年は 8/6(水)と 8/21(木)どちらも 14 時～16 時、ちがさきサポセンで開催。体験してみたの感想や自分自身の心の成長など新しい発見について語り合います♡

その後、希望する体験先担当者と面談、体験日の調整を行い、あとはボランティア体験当日を待つのみ！

「何か行動してみたいなあ」「誰かの助けになれるかなあ」「いつもと違うことにチャレンジしてみたい」など、きっかけはそれぞれ、アクションを起こした参加者全員、すでに立派なスタートを切っています。

受入先の方々も皆さんの思いを大切に、そして有意義な体験ができるよう準備をして待っています。

Step ② 体験期間

自分の興味関心があるボランティア体験により、視野が広がり新しい自分を発見できたり、目には見えない内面の変化であったり、様々な気づきを得られるチャンス。自分からどれだけ行動を起せるかが重要。

主催者・体験先のみなさんも、若いみんなの大切な一歩を、9 月 7 日体験最終日まで、全力でサポートしていきます。暑さに負けず元気に笑顔で頑張ろう！

高校生ボランティアの力に感謝！！

毎年、ユースボランティアのオリエンテーションで欠かせない存在の高校生ボランティアのみなさんが、今年も大活躍してくれました！アレセシア湘南中学高等学校ドルカス部 1 名、茅ヶ崎高校ボランティア同好会 3 名に、会場設営、受付のボランティアをお願いしました。

みなさん自ら進んで行動し、素早く受付をするために工夫をしながら、積極的に参加者とコミュニケーションを取る姿も見られました。私たちスタッフは安心して準備ができ、無事にオリエンテーションを終えることができました。高校生ボランティアのみなさん、ありがとうございました。

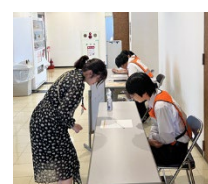
《会場設営》

いつも気にしていなかった椅子並べが、大変なことがわかりました。会場設営の大切さを学ぶことができました。



《受付》

様々な学校から多くの方がボランティアに興味を持ってくれることを感じました。先に学校名を聞くことで、素早く受付をすることができました。



《挨拶》

オリエンテーションで部の紹介や、参加者の応援メッセージもありました。



茅ヶ崎高校
ボランティア同好会▽

△アレセシア湘南
中学高等学校ドルカス部



茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

さぼちゃんが行く！

団体 HP ▶



特定非営利活動法人 ちがさき学童保育の会

保育が必要な小学校児童の豊かで安全な生活の場を築き、児童の心身ともに健やかな発達を援助する事により、健全で豊かな地域社会の確立を図ることを目的に活動しています。(設立 2004 年 10 月、正会員 11 名)

《副理事長の宗助さん、理事の武部さんにお話を伺いました》

今、必要とされている居場所づくり

「私たちは、未来へはばたく子どもたちと共に、ほっとできるみんなのおうちをつくります」

市立図書館に隣接する、法人の事務所がある NTT 東日本茅ヶ崎ビル。入口ドアが開くと同時に正面壁に掲げられた法人の理念が目飛び込んできます。



その日は、6月にプレオープンした不登校の子ども(小学生～高校生)とその保護者のためのフリースペース「みんなの寺子屋&相談会」の開催日。普段は職員研修やサマースクールの会場等に活用されているプレイルームを訪れると、5組ほどの子どもと大人たちが一緒にボードゲームやお絵描き、卓球などで遊んだりおしゃべりしたりしながら楽しく賑やかに過ごしていました。

学校に行きづらかったり集団生活に馴染めなかったりする子どもたちの平日日中の居場所をつくりたいと立ち上げた事業とのことですが、単発ではなく継続する事業として取り組むべく、9月からの本格稼働を目指して民間助成金も申請中。運営には、市北部の里山地域を中心に活動している市民活動団体「わわわのわ」も協力しており、地域や市内の様々な団体とも連携して、広報や運営の準備を進めているそうです。

保護者の想いをかたちに

法人設立のきっかけは、学区ごとに保護者が運営していた児童クラブを一元化する事で、市内の児童クラブの運営及び保育内容の充実と指導員の安定雇用を可能にすること。当初は、各地区の児童クラブ保護者代表からなる組織でしたが、現在、組織運営や事業企画を主に担っているのは元保護者でもある元職員や、元教員など専門性も併せ持った理事メンバー。子どもと過ごすことが大好きな職員あわせて約 90 名が一丸となって、設立時の想いをしっかりと引継ぎながら、時代の変化や社会のニーズを捉えて、子どもファースト、保護者ファーストで、子どもたちが安心安全に過ごせる居場所づくりに力を注いでいます。

事業の柱は、放課後児童健全育成事業としての公設の児童クラブ(学童保育所)・民設のクラブ「晴れハレ」の運営です。「大人の見守りは最大限、手助けは最小限」で子どもたち主体の運営を心がけています。その他、長期休暇対策事業として小学 3 年生以上が対象のスプリングスクール・サマースクール・ウィンタースクールの実施、幼児～小学生を対象とした自習型の個別指導教室の運営、生きる力を育む様々な体験型学習プログラムの提供なども行っています。

(今年も「ユースボランティア茅ヶ崎」の体験先として、高校生以上の学生受入にご協力いただいています！)

地域みんなで子どもを育てる

この 20 年で子どもや保護者を取り巻く環境も随分変化しています。始めた頃は児童クラブの定員も少なく、1年生から6年生まで異年齢の縦のつながりが出来、アットホームな雰囲気皆が過ごすことができていたそうです。現在は、共働き家庭の増加やコロナ禍以降、子育て世代の移住者が増えたこともあり、希望者が多く、受入れられるのは主に1年生と2年生。待機児童が比較的多い学区においては民設クラブの施設所有者や市と協議して定員数を増やすなどの対策をとってききましたが、全体的な待機解消には至っていないとのことでした。そして低学年からお稽古ごとが多いのも今の特徴だそうです。子どもたちには放課後ゆったりと過ごしてほしいと願いつつも、ひとりひとり分刻みのスケジュールを連絡用アプリで確認しながら丁寧に対応しているとのことには頭が下がる思いです。

様々な課題解決に向けて、法人が大切にしているのは地域とのつながり、地域の力。「こどもまんなか社会」の実現を目指して保護者・地域・市民活動団体・行政・学校・関連機関等が、それぞれ培ってきた専門性やネットワークを活かして連携を深めていくことが求められており、その必要性を熱く語るお二人に圧倒されました。議論の過程では、豊富な知見を持つ法人が中心的な役割を担ってくださると確信しています。



学校に行かずに過ごす子どもたちと家族のための茅ヶ崎駅前のフリースペース
「みんなの寺子屋」

＝詳しくは、インスタで！＝



お知らせ

■ 市民活動の保険「市民活動等災害補償制度」

市内に活動拠点を置く市民活動団体等を被保険者として茅ヶ崎市が契約している保険で**事前の登録手続きは不要！**活動中に起こってしまった予期せぬ事故によるケガ等について補償されます。(熱中症(熱射病・日射病)、細菌性食中毒及びウイルス性食中毒も補償の対象)

[対象となる事故]

- ・ 傷害事故・賠償責任事故

詳細は
コチラから▶



[事故が起きてしまったら]

- ・ 書類の提出期限は、事故日から1か月以内！
- ・ 事故報告書・団体の規約・事故日の活動内容がわかる書類(日程表、指導者や参加者の名簿など)
- ・ 現場や破損状況がわかる写真、見積書(物損の場合)

※詳細は、市民自治推進課(81-7126)または市のHP参照

■ 炎天下かけこみスポット！

「危険な暑さから避難できる場所」
としてどなたでも利用できます！体調が悪くなる前に当スポットを利用して元気に夏を過ごしましょう！



**サポセン利用時は
“マイボトル”をご持参ください！**

早めの水分補給を！
環境に配慮した施設のため自動販売機の
設置がありません

■ Web版/市民活動団体ガイドブック 2025年度

8月にサポセンHPにて登録情報を一斉更新予定！
300以上の団体情報を掲載しています。「社会や地域貢献につながる活動をしたい」「課題解決のために他団体と協力したい」など市民と団体をつなぐ
ガイドブックとしてご活用ください。

☆新規登録も随時受付中☆ 詳細はコチラ▶



■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」
コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷ 9/1号：湘南茅ヶ崎マリンバンドン

▷ 10/1号：乳がんサポート湘南ちがさき Akala

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

■ パソボラ湘南主催 IT支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンで相談！

★開催日：第2・第4月曜日(無料・予約制)

①13:00~14:00 ②14:00~15:00 ③15:00~16:00

※各回定員2名 ※申込受付：毎月1日から

※お申込みは、直接NPO法人パソボラ湘南、
担当：杉岡さんへ電話で申込 090-9543-0070

但し、16時以降に電話を！ 詳細はコチラ▶



サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

・8/6,21 PM シェア de ボランティア

・8/24 PM IT支援講座「ChatGPT」

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

・9/13 AM NPO講座「広報の基本」

・9/20,27 PM IT支援講座「Canva」

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

・10/19 PM SDGs カフェ 13

・10/25 AM こどたん+2026 キックオフ交流会

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。
ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30~21:30 (休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28~1/3))

アクセス JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX: 0467-88-7546

E-mail: s-center@pluto.plala.or.jp URL: https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき

(指定管理期間：2021年4月1日~2026年3月31日)

サポセンキャラクター
“さぼちゃん”



サポセン HP